

令和2年度第5回久留米市上下水道事業運営審議会（要旨）

1 開催日時

令和3年3月29日(月) 14時00分から15時00分

2 会場

久留米市企業局庁舎 3階 第1会議室

3 出席委員・アドバイザー（名簿順）

・委員

広城吉成委員（会長）、香月孝文委員（副会長）、大森洋子委員、
倉八啓壽委員、権藤裕子委員、野田周子委員、深山和義委員

計7名

・アドバイザー

古川幸司氏 計1名

4 欠席者

・委員

齊藤由里恵委員、川村芳子委員

・アドバイザー

三浦裕明氏

5 事務局（市職員等）

徳永企業管理者、井上上下水道部長、名嶋上下水道部次長、住吉上下水道部技術担当次長、長野経理課長、柿原営業管理課長、橋本給排水設備課長、内野上水道整備課長、西依浄水管理センター所長、宮崎下水道整備課長、下川下水道施設課長、牧ノ内河川課長、その他事務局職員等12名

【議事次第】

1 開会

2 議題

（1）報告事項

①第4回審議会の提出意見を踏まえた久留米市上下水道事業経営戦略（最終案）について

3 答申

4 その他

（1）令和3年度以降の審議会の開催方針について

5 閉会

[配布資料]

- ・ 久留米市上下水道事業運営審議会委員名簿 …資料（１）
- ・ 久留米市上下水道事業経営戦略（最終案） …資料（２）
- ・ 経営戦略参考資料 …資料（３）
- ・ 令和３年度以降の久留米市上下水道事業運営審議会の開催方針について…資料（４）
- ・ 第５回久留米市上下水道事業運営審議会座席表 …参考資料①
- ・ 第４回審議会における意見と対応 …参考資料②

議事録要旨

1 開会

- 事務局より、委員の半数以上が出席しているため、会議が成立していることの報告
事務局より、企業管理者挨拶
- 広城会長より、傍聴者の確認⇒傍聴者なし

2 議題

(1) 報告事項

- ①第４回審議会の提出意見を踏まえた久留米市上下水道事業経営戦略（最終案）について（事務局より、資料（２）久留米市上下水道事業経営戦略（最終案）、資料（３）経営戦略参考資料、参考資料②第４回審議会における意見と対応を用いて説明）

《質疑・応答》

特になし

3 答申

答申にあたり、これまでの議論を振り返りながら各委員から一言感想を伺う。

○香月副会長

平成３０年の包括外部監査から水道事業を、確認させてもらい、アセットマネジメントの検証で数字を見せてもらった。当時と比べると、更新施設の優先順位を決め、費用を平準化されており、現状をきちんと分析され、より効率的な内容になっていると今回

の経営戦略を見て理解ができる。

ただ、ここまで効率的な経営であっても将来的に厳しくなるため、今後ともできる限りお力添えさせていただきたい。よろしく願いいたします。

○深山委員

この経営戦略については、今日的な問題などについて様々なデータを駆使して分析され、さらにこれを踏まえて将来の経営戦略について問題点の解決や課題の整理などを含めて作成されているため、極めて妥当だと思う。私は初めての参加でしたので分からないことばかりで大変勉強になった。お疲れ様でした。

○野田委員

私は初めてのなもので、皆様の御意見に沿いたいと思う。よろしく願いいたします。

○権藤委員

私は今回審議会の委員になり、経営戦略に携わる中で今まで知らなかったことを知り、とても勉強になった。こういった事業に携わることがなければ、水道料金が上がれば一市民として嫌だという意識しかなかったと思うが、現在の状況を知ることで、今後は見方も変わってくる。私のように水道事業についてあまり知らない市民は多いと思う。今後も現在の状況を市民が知る機会を与えていくことが大事だと思う。

課題はまだまだあると思うが、市民が十分納得のいく開示を今後も期待して、この審議会に参加したいと思う。今後もよろしく願いいたします。

○倉八委員

私たち飲食業としては、50年以上前は、銀行からも融資を受けられない時代があった。水道料金が上がれば結果として、それだけ売上がついてくるため、水道は飲食業にとっては欠かせないものである。魚、野菜などを洗うためにも、食中毒の危険もあるため、井戸水では決して洗えない。だから、水道はなくてはならないものだ。

コンビニなどで水のペットボトルが販売され、水道水を飲まない人たちが増えている。将来的には水のペットボトル1本に税金を幾らかつけて、水道料金を助けるなどの発想もあっていいのではないかと思う。

○大森委員

水は重要なインフラであり、安全な水を支障なく供給することは責任の重たい仕事だ
と思う。今後も予算が十分ではないかもしれないが、効率化も図りながら安定的な供給
と安心な水を届けるということを、責任を持って続けていただきたいと思います。

いろいろとお世話になり、ありがとうございました。

○古川アドバイザー

計画は策定して終わりではなく、これを基にどのような施策を立て、水道事業の効率
的な経営を続けていくことが重要だ。これからも大変と思うが、県としても携わって
いきたいと思う。

また県では、水道広域化プランを策定している途中で、今年度は現状と将来推計、そ
れから課題まで全事業体で出している。近々関係の事業体を集め、広域化のための協議
の場を設定する予定である。また久留米市にも御協力いただければと思っている。今後
ともよろしく願いいたします。

○川村委員（欠席のため、広城会長より代読）

この経営戦略の内容を読ませていただき、40年先までの経営を試算して取り組まれ、
またアセットマネジメントによる資産管理を行っている。水道事業について多くの内容
に触れさせていただき、水を使用する消費者の立場からは、考えたことがなかったので
非常に勉強になった。

○齊藤委員（欠席のため、広城会長より代読）

この経営戦略会議で経営状況の見える化、それに伴い中長期にわたる試算がなされて、
それらに対してどのように対応すべきかをしっかり記載されていると評価できる。市民、
利用者へ経営状況や目指すべき方向性を情報共有し、この戦略がきちんと実行されるこ
とを願っている。

○三浦アドバイザー（欠席のため、広城会長より代読）

今後10年で取り組むべき施策の方向性をしっかり盛り込まれているのではないかと。

今後、流域治水ということが重要になってくる。流域治水関連法案が今国会にも提出されているという中で、その関連法案において、下水道で浸水被害を防ぐべき目標降雨を下水道管理者が定める事業計画に位置づけて、施設整備の目標を明確化することなどが必要だろう。

○広城会長

委員皆さんの意見そのものが総括と思う。従来の計画とか経営戦略とか、フォアキャストばかりだが、今後はバックキャストの視点も入れていかなければいけない。また、PDCAのPが終わったところで、今度はD、C、Aが始まるので、しっかり検証していかなければいけない。

新水道ビジョンが平成25年、新下水道ビジョンが平成26年に策定され、また水道法も改正され、自治体も経営責任を持って進めていかなければいけない。実行するためには市民に見える化を実施し、理解していただく必要がある。

最後に、この審議会は委員が9名であり、女性委員が5名で過半数を超えて、ジェンダーの視点を取り入れている。パブリックコメントの中でも、もっと女性の職員を増やしたらどうかという意見がたくさんあった。生活の視点を持っているのは男性よりも女性だと思うので、インフラ、上水道、下水道に関してもなるべく女性を登用していただければと思う。無事に今回の経営戦略審議会が終わったということで、皆さんに改めて会長からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

以上、感想を頂き、広城会長から徳永企業管理者へ答申書を渡す。

○広城会長

令和3年3月29日、久留米市企業局企業管理者、徳永龍一殿。久留米市上下水道事業運営審議会会長、広城吉成。

久留米市上下水道事業戦略について、答申。

令和2年7月14日付、2審第3号をもって当審議会に諮問された久留米市上下水道事業経営戦略について、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり答申いたします。

よろしく願いいたします。

○徳永企業管理者

ただいま広城会長より答申をいただきました。広城会長をはじめ委員の皆様並びにアドバイザーの皆様には、昨年7月から5回にわたる御審議、本当にありがとうございました。

今後はこの経営戦略を指針といたしまして、久留米市の上下水道事業が安定的に事業継続できますよう、また、市民の皆様に安心してサービスを提供できますよう努めてまいりたいと思います。まずはこの戦略をしっかりと実行すること、そして、そのためには市民の皆様に情報共有して見える化すること、さらには男女平等の視点を忘れないこと、そういった御指摘もいただきましたので、そういった委員の思いも含めてしっかりと実行させていただきたいと思います。

また、この戦略の推進状況につきましては、本審議会に定期的に報告させていただきまして、皆様方に御意見、御指導を賜りたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。本当に長い間ありがとうございました。

4 その他

(1) 令和3年度以降の審議会の開催方針について

(事務局より、資料(4)令和3年度以降の久留米市上下水道事業運営審議会の開催方針についてを用いて説明)

《質疑・応答》

特になし

5 閉会

○広城会長より、閉会のあいさつ